

東京レインボープライド(TRP)2023に参加しました！

～ 三井住友トラスト・グループとして初の企業ブース出展&パレード参加 ～

三井住友トラスト・グループは、LGBTQなどの性的マイノリティに関する取り組みの評価「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」をグループとして受賞し、三井住友信託銀行としてはコレクティブ・インパクト型(*)の取り組みを実施する企業を表彰する「レインボー」も2年連続で受賞しました。また、社内のALLY(LGBTQを理解し、支援する人を指す)を増やしていく取り組みも推進しています。

*コレクティブ・インパクト：課題解決のために、企業や行政、NPOなどが手を取って協業すること



東京レインボープライド(以下、TRP)は、LGBTQをはじめとする性的マイノリティが差別や偏見にさらされることなく、自分らしく生きることができる社会の実現を目指すイベントです。代々木公園の野外ステージを中心に行われる「プライドフェスティバル」と、渋谷～原宿の公道を歩行コースとする「プライドパレード」で構成されます。今年は4月22日(土)～23日(日)に開催され、両日で約24万人が来場、過去最大規模の賑わいを見せました。

企業ブース出展とパレード参加

当グループは、社内のALLYの社員たちが協力し、当グループの取り組みをPRする企業ブースを初出展、社員とその家族がパレードに参加しました。

企業ブースでは、当グループの取り組みである同性パートナーを配偶者と同様の扱いとした住宅ローンや、同性パートナーへの家族カード(クレジットカード)の発行および同性パートナーへの財産承継など、LGBTQフレンドリーな金融機関としてのスタンスを表明したパネルを展示しました。

企業ブースに足を運んでくださった方には、当グループの取り組みを口頭でも紹介し、オリジナルファイルやノートをお渡ししました。

来場された方々からは、「いろいろな取り組みをしている企業だと知れてよかった」、「応援しています」「同性婚が法制化されていない中、同性パートナーに財産を残す方法があることは大切だと思う」等、たくさんのお声をいただきました。

2日間を通じて、当グループの企業ブースには、1,000名以上の方にお越しいただきました。



2日目に行われたプライドパレードには、グループ全体で社員とその家族、約50名が参加しました。この日は朝から快晴に恵まれパレード日和となりました。

パレードには約1万人が参加、私たちも、LGBTQフレンドリーな企業や団体、ALLYの方々と共に代々木公園を出発し、渋谷・原宿の街を歩きました。沿道にはたくさんの観客が集まり、手を振ってくださったり、「Happy Pride!」と声をかけてくださったりしました。

LGBTQ フレンドリーな企業として

「プライド (Pride)」と言う単語は、英語の一般名詞で「誇り・矜持^{きょうじ}」を意味しますが、現在はLGBTQをはじめとする性的マイノリティのパレード（パレード前後のイベントを含めた総称）として国際社会に認知されています。20世紀に米国から始まったこのプライドパレードは世界に波及し、日本では現在、東京をはじめとする北海道や名古屋など全国各地で行われています。

今回のプライドパレードでは、LGBTQの権利運動が社会に浸透しつつあることを肌で実感するとともに、たくさんの声援をいただき、あたたかい気持ちになりました。また、今後のさらなるALLYに向けた取り組みとして、非常に学びの多い機会となりました。

三井住友トラスト・グループは今後も、一人一人が多様な生き方や価値観をお互いに尊重しあえるより良い社会の実現を目指し、お客さまや社会へのポジティブインパクト創出に向けた取り組みを進めてまいります。

東京レインボープライド(TRP)2023 / パレードの様子



東京レインボープライド(TRP)2023 / 企業ブースの様子

